



10分の1「大和」徹底解剖 ⑥ 艦載機



艦載機ってなあに？ 船の上に飛行機がある！？



艦載機とは、船に載せている飛行機のことです。10分1戦艦「大和」に見えるのは「零式水上観測機」という飛行機です。写真で確認してみましょう。何をするための飛行機なのでしょう？

■ 10分の1戦艦「大和」艦尾(船の後方)付近「零式水上観測機」



観測機とは？

観測機とは、主に大砲の着弾(弾がどこに落ちたか)の観測(確認)をする飛行機です。敵に近づく危険な任務のため、戦闘能力も兼ね備える飛行機でした。戦艦「大和」には、飛行機のパイロットはもちろん、飛行機を整備するための整備員も乗船していました。船の上からどのようにして飛び立つのでしょうか？



船の上から飛行機をとばす！「カタパルト」ってなんだ？



■ 10分の1戦艦「大和」艦尾(船の後方)



火薬の力で飛んでいけ！

カタパルトは軍艦の甲板(デッキ)のような狭いところから、飛行機を発進させる装置です。「大和」のカタパルトは、火薬の力を利用してしています。「大和」の艦載機(船に載せている飛行機)は、帰ってきた時に着水し(海上に着く)、船のクレーンであげて戻します。そのため、海の上でも浮けるようにフロートという「浮き袋」のようなものが付いています。

飛行機を船の中にしまうなんて！

飛行機は、翼をたたんで船の中に格納していたんだ

